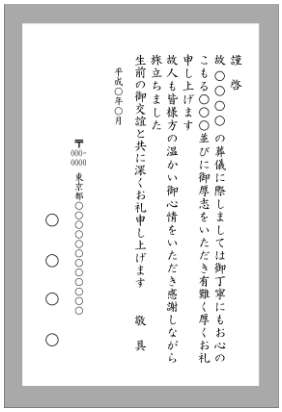
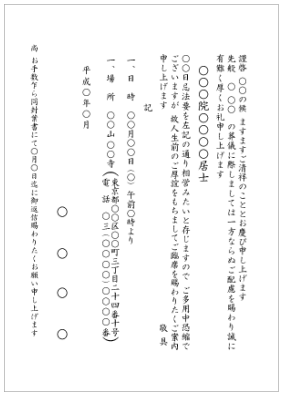
各種挨拶状・喪中葉書・寒中見舞い



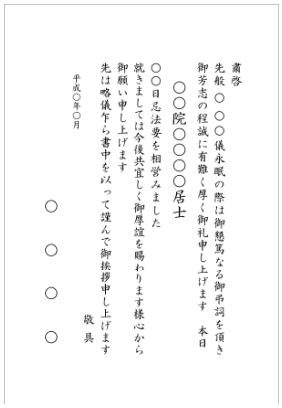
葬儀後のご挨拶状

葬儀後の挨拶状とは、葬儀の時に弔電・供花・供物など頂戴した物に対してのお礼状です。会葬者すべてに同じ内容のもの発送するのではなく、頂いた物それぞれに送ります。
こういう時には、電話でお礼を言うことは避け、書面にてお礼を述べましょう。
また、弔辞をして頂いた方などには、訪問してお礼の挨拶を述べることがより丁寧になります。
会葬礼状と違うのは、葬儀後の挨拶状の場合、それぞれ頂戴した物に対してお礼状を発送するということです。
ですから、頂戴した物によっては、文章も変わることになります。



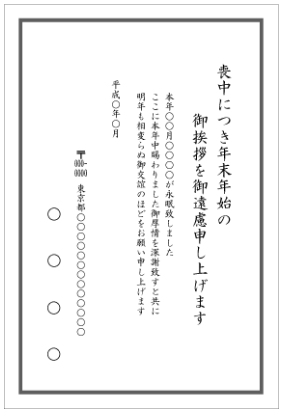
法要案内状

葬儀関連の印刷物（お礼状・通知状）が一段落すると、すぐに法要があります。
法要に際しては、法要案内状を発送します。
法要の場合、身内のみにて執り行うケースも非常に多く、このような場合には、わざわざ案内状を作成することなく、電話連絡やFAXなどですませるケースも多いようです。
しかし、故人と生前に親交のあった方々をお招きする場合には、やはり書面にて丁寧にご案内する事が望まれます。
身内のみの対応と、身内以外の方への対応は、きちんと分けて考えた方が良いと思われます。



忌明け挨拶状

法要が終わると忌が明けます。 一般的に「忌明け」と言います。
忌明けには、一般的には香典返しを行います。 このときに巻紙（奉書）を添えて忌明けの挨拶を行います。
当日返しやご寄附により忌明けにお香典返しを行わない場合は忌明けの挨拶状を発送します。
忌の内は、訪問を控えている方もいますので、忌明けの挨拶状は、きちんと送るようにした方が良いと思います。
忌明けの挨拶状が届いた後に、改めて訪問を考える方がいるからです。



喪中葉書・寒中見舞い

喪中ハガキは年末に、年末年始の欠礼の旨を通知するハガキです。
時期的には、年賀状受付前には完了しておくのが一番です。
葬儀が年末の場合なかなか、計画的にはいきません。１２月中旬までに発送が可能であれば喪中ハガキをお出し下さい。
それ以降である場合、年明けに年賀状を頂いた方々に寒中ハガキを発送します。
文章としては、特に宗教的制約はありません。
日本の習慣として、宗教を問わずに喪中ハガキを出すことが多いようです

９月頃になりましたら 株式会社ムラカミのサービス部門「**ハートフルパートナーズ**」より
喪中葉書に関する詳しいご案内をさせていただいております
印刷の無料サービスや宛名印刷などの特典がございますので 宜しくお願い致します
※本サービスは通常プランご利用の方が対象になっております